

『TNM 悪性腫瘍の分類 第7版 日本語版』に関するお知らせ

(2010年9月20日発行 第1刷～2012年3月30日発行 第4刷をご購入いただきました皆様へ)

本書の原著版「TNM Classification of Malignant Tumours SEVENTH EDITION」は2009年に出版された後、UICCのホームページ上で一部修正個所が案内されており、原著版の増刷時にそれらを含む誤植訂正が行われております(www.wileyanduicc.com/pdf/Corrected_pages.pdf参照)。そのため、UICC日本委員会 TNM委員会では、これらの変更点を日本語版第5刷より反映することいたしました。

下記に修正前（第1～4刷）と修正後（第5刷）の相違点を一覧表として掲載いたしますのでご参照ください（一部、日本語版作成時の誤植訂正を含む）。

ページ、項目、行	修正前（第1～4刷）	修正後（第5刷）
xiii, 下から1-2行目	Edge SB, Byrd DR, <u>Carducci MA</u> , Compton CC, Fritz AG, Greene F, Trott A. eds.	Edge SB, Byrd DR, Compton CC, Fritz AG, Greene <u>F</u> <u>L</u> , Trott A. eds.
4, 下から2行目	Edge SB, Byrd DR, <u>Carducci MA</u> , et al., eds.	Edge SB, Byrd DR, <u>Compton CC</u> , et al., eds.
10, 上から12-17行目	肺 PUL(<u>C34</u>) 骨髄 MAR(<u>C42.1</u>) 骨 OSS(<u>C40, 41</u>) 胸膜 PLE(<u>C38.4</u>) 肝 HEP(<u>C22</u>) 腹膜 PER(<u>C48.1, 2</u>) 脳 BRA(<u>C71</u>) 副腎 ADR(<u>C74</u>) リンパ節 LYM(<u>C77</u>) 皮膚 SKI(<u>C44</u>) その他 OTH	肺 PUL 骨髄 MAR 骨 OSS 胸膜 PLE 肝 HEP 腹膜 PER 脳 BRA 副腎 ADR リンパ節 LYM 皮膚 SKI その他 OTH
13, pM-遠隔転移, 下から4行目	骨髄に形態学的検査により遊離腫瘍細胞(ITC)を認めた場合は、 <u>N</u> 分類におけるITCの扱いに従い分類する。	骨髄に形態学的検査により遊離腫瘍細胞(ITC)を認めた場合は、 <u>M</u> 分類におけるITCの扱いに従い分類する。
25, 病期分類, 6-7行目	IVA期 T4a N0, N1 M0 T1, T2, T3, T4a N2 M0	IVA期 <u>T1, T2, T3</u> <u>N2</u> M0 <u>T4a</u> <u>N0, N1, N2</u> M0 (※修正前後において内容の変更はなし)

ページ, 項目, 行	修正前（第1～4刷）	修正後（第5刷）
37, 下から 4 行目	口蓋舌筋, 茎突舌筋, 縱隔に浸潤する腫瘍を含む頸部軟部組織,	口蓋舌筋, 茎突舌筋)を含む頸部軟部組織,
40, 病期分類, 6-7 行目	IVA 期 T4a N0, N1 M0 T1, T2, T3, T4a N2 M0	IVA 期 T1, T2, T3 N2 M0 T4a N0, N1, N2 M0 (※修正前後において内容の変更はなし)
44, 下から 4 行目	外鼻の皮膚頬部皮膚,	外鼻の皮膚, 頬部皮膚,
48, 下から 5 行目	上皮および / または粘膜下(粘膜病変)に限局する腫瘍	上皮および / または粘膜下(粘膜病変)に限局する腫瘍
49, 「pTNM 病理学的分類」と「病期分類」の間	(記載なし)	「G 病理組織学的分化度分類」 不適用。
65, 下から 5 行目	6 個以上のリンパ節が含まれる。	7 個以上のリンパ節が含まれる。
100, 上から 2 行目	(ICD-O C21.1)	(ICD-O C21.1,2)
108, 下から 6 行目	右肝内胆肝癌	右肝内胆管癌
108, 下から 4 行目	右肝内胆肝癌	右肝内胆管癌
108, 下から 2 行目	右肝内胆肝癌	右肝内胆管癌
109, 下から 10 行目	M - 遠隔遠転移	M - 遠隔転移
111, 「分類規約」と「所属 リンパ節」の間	(記載なし)	「解剖学的亜部位」 1. 胆囊(C23.9) 2. 胆囊管(C24.0)
113, 要約, 1 行目	胆 囊	胆囊・胆囊管
119, 要約, 4 行目	T3 胆囊, 脾臓, 十二指腸, または他の隣接臓器	T3 胆囊, 脾臓, 肝臓, 十二指腸, または他の隣接臓器
125, 上から 8 行目	10 個以上のリンパ節が含まれる。	12 個以上のリンパ節が含まれる。
130, 下から 4 行目	7 cm をこえるか, 胸壁(superior sulcus tumor を含む),	7 cm をこえるか, 壁側胸膜, 胸壁(superior sulcus tumor を含む),
134, 要約, 上から 10 行目	> 7 cm ; 胸壁,	> 7 cm ; 壁側胸膜, 胸壁,
145, 病期分類, 2 行目	IB 期 T2	IB 期 T2-3
145, 病期分類, 5 行目	III 期 T3 N0 M0 悪性度に関係なく	III 期 T3 N0 M0 高悪性度

ページ, 項目, 行	修正前 (第 1~4 刷)					修正後 (第 5 刷)												
151, 病期分類	IA 期	T1a T1b	N0 N0	M0 M0	低悪性度 低悪性度	IA 期	T1a, T1b	N0	M0	悪性度 1								
	IB 期	T2a T2b	N0 N0	M0 M0	低悪性度 低悪性度	IIA 期	T1a, T1b	N0	M0	悪性度 2, 悪性度 3								
	IIA 期	T1a T1b	N0 N0	M0 M0	高悪性度 高悪性度	IIB 期	T2a, T2b	N0	M0	悪性度 2								
		T2a	N0	M0	高悪性度		T2a, T2b	N0	M0	悪性度 3								
	IIB 期	T2b	N0	M0	高悪性度	III 期	T に関係なく	N1	M0	悪性度に関係なく								
		T に関係なく	N1	M0	悪性度に関係なく		T に関係なく	N に関係なく	M1	悪性度に関係なく								
	III 期	T2b	N0	M0	高悪性度	〔訳者注〕この第 7 版では病期分類は G 病理組織学的分化度(悪性度)分類の 3 段階分類が使用されている。												
		T に関係なく	N に関係なく	M1	悪性度に関係なく	〔訳者注〕この第 7 版では病期分類は G 病理組織学的分化度(悪性度)分類の 3 段階分類が使用されている。												
157, 高リスク要因, 1 行目	厚さ > 4 cm					厚さ > 2 mm												
157, 高リスク要因, 6 行目	原発部位が口唇有毛部					原発部位が赤唇												
164, 上から 2-3 行目	pT1a	Clark レベル II または III, 潰瘍を伴わない				pT1a	潰瘍を伴わず, かつ核分裂像 < 1 個/mm ²											
	pT1b	Clark レベル IV または V, または潰瘍を伴う				pT1b	潰瘍を伴うか, または核分裂像 ≥ 1 個/mm ²											
165, 病期分類, 10 行目	III 期	pT に関係なく	N1, N2, N3	M0		削除												
166, 要約, 2-3 行目	pT1a	≤ 1 mm, Clark レベル II または III, 潰瘍なし				pT1a	≤ 1 mm, 核分裂像 < 1 個/mm ² , 潰瘍なし											
	pT1b	≤ 1 mm, Clark レベル IV または V, または潰瘍あり				pT1b	≤ 1 mm, 核分裂像 ≥ 1 個/mm ² , または潰瘍あり											
166, 要約「N3」の下	(記載なし)					M1	遠隔転移											
						M1a	所属リンパ節をこえた, 皮膚, 皮下, リンパ節											
						M1b	肺											
						M1c	その他のすべての臓器, 転移部位にかかるわらず血清 LDH 異常高値を示す場合											
182, 下から 2 行目	Pecotelli S. Revised FIGO staging for carcinoma of the <u>Gulva</u> cervix					Pecorelli S. Revised FIGO staging for carcinoma of the <u>vulva</u> cervix												
196, M-遠隔転移, 2 行目	鼠径部リンパ節					鼠径リンパ節												
200, TNM 臨床分類	IIIC2 期			骨盤リンパ節への転移に有無に関係なく, 傍大動脈リンパ節への転移		N2	IIIC2 期	骨盤リンパ節への転移に有無に関係なく, 傍大動脈リンパ節への転移										

ページ, 項目, 行	修正前(第1~4刷)	修正後(第5刷)
201, 上から9行目	注: 3. 胞状浮腫の存在は, T4に分類する十分な証拠ではない。	削除
201, M-遠隔転移, 3行目	鼠径部リンパ節と,	鼠径リンパ節と,
202, 病期分類, 6行目	IIIC 期 T1, T2, T3 N1 M0	IIIC 期 T1, T2, T3 N1, N2 M0 IIIC 1期 T1, T2, T3 N1 M0 IIIC 2期 T1, T2, T3 N2 M0
203, 要約, 9行目	N1 所属リンパ節転移	N1, N2 所属リンパ節転移
204, 上から3行目	[ICD-O 53, 54(54.1を除く)]	[ICD-O 53, 54]
211, 上から6行目	T3 / N1	T3
228, 病期分類, 5行目	(II期) T2 N0, N1 M0	(II期) T2 N0 M0
232, G 病理組織学的分化度分類, 2-4行目	G1 高分化(軽度異型) (Gleason 2-4)	G1 高分化(軽度異型) (Gleason \leq 6)
	G2 中分化(中等度異型) (Gleason 5-6)	G2 中分化(中等度異型) (Gleason 7)
	G3-4 低分化 - 未分化(高度異型) (Gleason 7-10)	G3-4 低分化 - 未分化(高度異型) (Gleason 8-10)
233, 予後分類, 5行目	(IIA群) T2a N0 M0 PSA \geq 10<20 Gleason \leq 7	(IIA群) T2a N0 M0 PSA \geq 10<20 Gleason \leq 6
241, N-所属リンパ節, 3-4行目	N1 1個の所属リンパ節転移	N1 所属リンパ節転移
	N2 2個以上の所属リンパ節転移	(※ N2は削除)
242, 病期分類, 3-4行目	III期 T3 N0 M0 T1, T2, T3 N1 M0	III期 T3 Nに関係なく M0 T1-2 N1 M0
	(IV期) T に関係なく N2 M0	削除
243, 要約, 13-14行目	N1 1個	N1 所属リンパ節転移
	N2 2個以上	(※ N2は削除)
273, 要約, 下から3行目	T4e 5mm以上の眼球外進展(すべての区分)	T4e 5mmをこえる眼球外進展(すべての区分)
273, 要約, 下から1-2行目	すべての部位	
	N1 所属リンパ節	

ページ, 項目, 行	修正前 (第1~4刷)	修正後 (第5刷)												
273, 要約の下	〔訳者注〕 本表の「毛様体・脈絡膜悪性黒色腫」は原文で正しい改訂作業がなされておらず、UICC に確認したところ、修正が行われる旨の通達を受けた。現時点では修正が終了していないので、翻訳者が修正を行った。	削除												
279, 要約, 下から 11-12 行目	<table border="1"> <tr> <td>N1</td> <td>所属リンパ節</td> <td>pM1</td> <td>遠隔転移</td> </tr> </table>	N1	所属リンパ節	pM1	遠隔転移	<table border="1"> <tr> <td>N1</td> <td>所属リンパ節</td> <td>pN1</td> <td>所属リンパ節</td> </tr> <tr> <td>M1</td> <td>遠隔転移</td> <td>pM1</td> <td>遠隔転移</td> </tr> </table>	N1	所属リンパ節	pN1	所属リンパ節	M1	遠隔転移	pM1	遠隔転移
N1	所属リンパ節	pM1	遠隔転移											
N1	所属リンパ節	pN1	所属リンパ節											
M1	遠隔転移	pM1	遠隔転移											
288, 臨床病期(cS), 2 行目	あるいは部位の限局性侵襲を I _E とする。	あるいは部位の限局性侵襲を I E とする。												
289, 上から 4 行目	II _E とする。	II E とする。												
289, 上から 8-9 行目	伴うものを III _E , あるいは脾侵襲を伴うものを III _S , あるいは両者を伴うものを III _{E+S} とする。	伴うものを III E, あるいは脾侵襲を伴うものを III S, あるいは両者を伴うものを III E+S とする。												
290, 要約, 3 行目 6 行目 11-13 行目	亜病期 I _E II _E III _E III _S III _{E+S}	亜病期 I E II E III E III S III E+S												

平成 24 年 7 月

金原出版株式会社